

「伝えたい！わたしたち（こども）の権利」の実践

長野市立長野中学校 中村広登

子どもの権利

1989年『子どもの権利条約』採択

- 1 生きる権利
- 2 育つ権利
- 3 守られる権利
- 4 参加する権利

2023年4月『こども基本法』施行

アフリカ州で貧困や飢餓に苦しむ子どもがいた。紛争に巻き込まれている子どももいるし、尊重されていない。

じゃあ日本の子どもは？
(教師の問い返し)

日本の子どもはかなり尊重されていると思う。

子ども幸福度

身体・健康的幸福度 1位 精神的幸福度 37位

問い①「日本の子どもの権利は尊重されていないのか？」

〈学習課題〉 日本の現状を調べて学習問題の解を出そう

- コロナ流行 日本は海外より厳しい対策 → モチベーション ↓ 生活習慣の低下 (精神的な権利 守られていない 見えにくい)
- いじめの増加 (SNSによるものも増えている)
- メンタヘルパー (家族の世話をする子供) → 時間なくなる、お金ない
- 家庭の事情 (貧困の連鎖) → できないことが多くなったりする
- 自殺してしまう人多い 法など体制で守られていない 子供はかわることに子ども関わってない → 大人が決めることが多い 決断はある

【A生のまとめ・感想】第2時

子どもの権利は日常生活で守られていない部分が多くある。(意見を取り入れてもらえない等) また、いじめなどの問題もある。貧困、ヤングケアラー、虐待

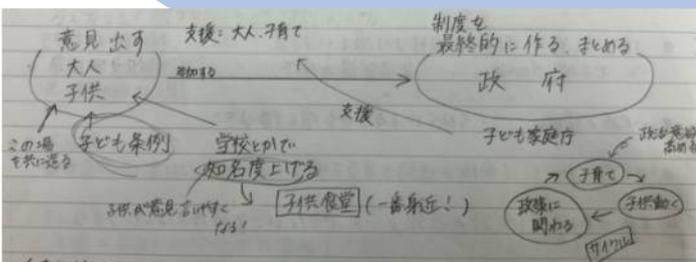
意見を取り入れてもらえないとかは、自分で法を定めて解決できることじゃないから、周りの大人が法をもとに意識することが大事だと思った。

問い②「これから子どもの権利を尊重するにはどうすれば良いのだろう？」

H生の班の考え

子育てしやすい環境をつくると同時に、こども自身が発信したり、実際にそれらを行動に移せたりするような場を周りの大人達とともにすることが大切

諸外国の状況	ブラック校則改善・意見表明	意見表明・子ども条例	子供の権利
目的: ・子供にとって必要なことのお金は無料になる。 ・子供にも政治は身近な存在になっている。 ・「子供コミッション」子供の考えを政府へ代弁し子供の権利を促進。 ・出産、育児休暇に取れる(半日未満) ・労働時間が少なく家族で過ごす時間が多い ・相談できる所、支援制度も充実 ・子供が自由に学びたいことを学べる	目的: ・ブラック校則は子供による意見表明によって見直された。 ・意見表明には様々な手段がある。 例)・X (旧Twitter) で意見を伝える。 ・オンライン上で署名活動 ・子供オンラインなど大人に変わりに言ってもらう。 ・もっと子供の意見を表明する時間を学校で取る。など。	目的: ・「子ども条例」…「参加する権利」「意見を表す権利」などについて定められたもの。 ・「子ども議会」「子ども会議」という形で、子どもが意見を伝える場を提供しているところがある。 ・子どもだけでなく、市職などの大人とも話し合いをする。	目的: 虐待、貧困政府対策。
メモ (組で意見交換の場に使っても良い) オンラインは取組の形が別々だったり、意見を表す場が空いている。 子供が意見を伝える場を作るのが大事。 (沈黙) 学校では取組に関係がなかったり、意見を表す場が空いている。			自治体によっては子どもたちが意見を表明して、まちづくりが実現しているところがある。
【班のまとめ】班で対話をし、それぞれの班を関連付けて学習問題のこたえを考えよう 学校や地域などが意見を表明できる環境を作り、その意見を政府が取り入れ、様々な問題を解決する制度を新たに作るべき。			



【A生のまとめ・感想】第3時

子どもが意見を出しやすい環境を学校とか地域とか政府とか社会全体で創り上げていくことで、風通しの良い社会を目指し、子どもの参加する権利を守るべきだと思った。

子どもの意見を聴く場所の知名度をあげていくことがまずは必要だと思った。そのためには社会全体が協力していくべきだと思う。

子どもの権利での学びをもとに、自ら動き出す生徒達・・・



職員へ提案する生活委員長 M 生



こども食堂で活動をする A 生達



荻原市長へ意見をいう A 生達